

子どもと学校

江戸時代の子ども達は、寺子屋^{てらこや}とよばれるところで、お師匠^{ししやう}さん(先生)について読み書きを習っていました。しかし、当時の紙や本はとても高価だったので、限られた子どもしか教育を受けることができませんでした。

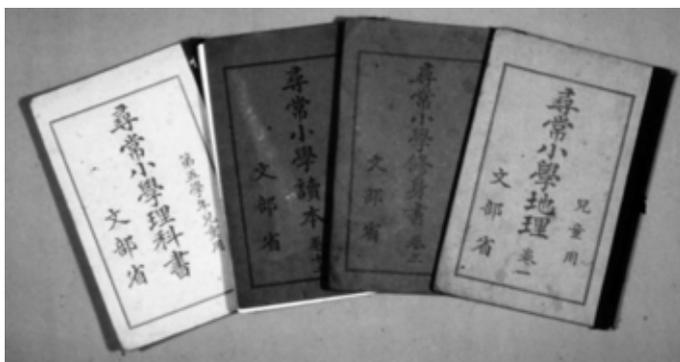
明治時代になって、はじめて小学校がつくられ、子どもが公平に学校へ行くことができるようになりました。しかし、色々な事情で学校に通えない子ども達もいました。昔の小学校でも今と同じように、字の書き方や習字、算数、体育などを勉強しました。



寺子屋の机



戦争のころの授業（江川元子氏蔵）



戦争以前の教科書
(明治時代の終わりから昭和時代の初め)



戦後の教科書
(昭和24年)